

1 事業実施の方針

棚田の保全と活用、幅広い普及と後継者の育成、環境・食・農の大切さ、自然や生き物とともに生きる豊かさを、棚田を保全・活用しながら、実践を通じて伝え、美しい棚田を未来につなげること。そして、幼少期から楽しみながら里山の自然や恵に触れ、友達や家族、地域の方々と共にさまざまな時を過ごすことにより、豊かな感性が生まれ、自発的に棚田がもたらす多様な価値やいのちの循環の場を残していく大切さを学ぶことを目的とし、田植え・稲刈り等の農作業体験を行い、都市部の人に棚田の現状の理解と自然に触れる機会を提供する。さらに、現場に力をいれ、農村の方から棚田、石垣の保全と伝統を継承する技術を学び、再生を行う。移住・居住・活動支援も行う。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施予定 日時	実施予定 場所	従事者の 予定人数	受益対象者の範囲 及び予定人数	支出見込み 額（千円）
棚田を生かす事業	棚田等での田植え・稲刈り等農作業体験	通年	市川町 香美町	3名/回	棚田地域の農家の方・都市部の青少年等 300名/年	7,500
人材育成・棚田の普及啓発事業	有機農業講座、棚田エコ学園農コース、楽縁プロジェクト 商店街、市川町の朝市での収穫物の試食・販売会、棚田のPR活動	毎月1回程度、基本毎月第1金曜日、土曜日 第2土曜日	市川町、 姫路市二階町商店街 市川町	3名/回	人材育成希望者5名～20名 棚田地域の農家の方・都市部の人々等 4800名/年(毎月200人×12回×2回)	5,000
交流事業	農園合宿・料理体験、古民家カフェ(子ども食堂)・菜園料理教室・生き物調査・婚活・縁を繋ぐ企画・冒険のひろば・フェス・学習会・民宿・古民家再生・コワーキングスペース、キャンプ	通年、毎月2回程度	市川町	5名/回	棚田地域の農家の方・都市部の青少年等 2000名/年	15,000
移住・居住・活動支援事業	農楽カフェ 移住・居住・活動支援 大学での授業	通年	神戸市 市川町 大阪	2名/回	農家の方・農業の後継者・都市部の消費者・青少年等 200名/年	1,000

2023年度特定非営利活動に係る事業会計活動予算書

2023年1月1日から2023年12月31日まで

特定非営利活動法人 棚田LOVER's

科目	金額(単位:円)		
I 収入の部			
1 会費収入			
	200,000	200,000	
2 事業収入			
棚田を生かす事業収入	3,000,000		
人材育成・棚田の普及啓発事業収入	6,000,000		
交流事業収入	5,500,000		
移住・居住・活動支援事業収入	1,000,000	15,500,000	
3助成金・寄付金収入			
助成金	26,000,000	26,000,000	
寄付金	1,000,000	1,000,000	
経常収入合計			42,700,000
II 支出の部			
1 事業費			
棚田を生かす事業費	7,500,000		
人材育成・棚田の普及啓発事業費	5,000,000		
交流事業費	15,000,000		
移住・居住・活動支援事業費	1,000,000	28,500,000	
2 管理費			
広告宣伝費	700,000		
事務備品	800,000		
消耗品費	2,400,000		
新聞図書費	10,000		
通信運搬費	150,000		
支払手数料	60,000		
旅費交通費	300,000		
水道光熱費	40,000		
郵送費	50,000		
福利厚生費	90,000		
人件費	4,000,000		
雑費	500,000		
燃料費	100,000	9,200,000	
経常支出合計			37,700,000
経常収支差額			5,000,000
III その他資金収入の部			
1 固定資産売却収入			
	0		
2 その他			
その他資金収入合計		0	0
IV その他資金支出の部			
1 固定資産取得支出	0		
2 予備費		0	
予備費その他資金支出合計			0
その他資金収支差額			0
当期収支差額			5,000,000
前期繰越収支差額			-4,414,345
次期繰越収支差額			585,655